

令和5年度 第1回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時 令和5年5月12日(金) 14:00～16:50

場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室

構 成 員 36名(出席者28名)

(出席者)

1号委員(琉大病院長)	大屋 祐輔
3号委員(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
5号委員(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子
6号委員(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子(代理出席:川満 直紀)
9号委員(沖縄県保健医療部長)	糸数 公
10号委員(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11号委員(琉大がんセンター運営委員会委員長)	鈴木 幹男
12号委員(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生(代理出席:有賀 拓郎)
13号委員(琉大薬剤部長)	中村 克徳(代理出席:小島 みどり)
14号委員(琉大看護部長)	眞栄城 智子
15号委員(琉大事務部長)	加藤 善一
16号委員(県立中部病院副院長)	本仲 寛美
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇(代理出席:吉田 幸生)
(那覇市立病院副院長)	宮里 浩
(那覇市立病院がん看護専門看護師)	東恩納 貴子
17号委員(県立宮古病院外科部長)	西原 政好
(県立八重山病院外科医師)	松村 敏信
(県立八重山病院副院長)	石田 浩子
(北部地区医師会病院副院長兼看護部長)	柴山 順子
(北部地区医師会病院副看護部長)	上地 佳代
18号委員(NPO乳がん患者の会 ぴんく・ばんさあ代表)	与儀 淑恵
(やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長)	田盛 亜紀子
(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
19号委員(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(琉球新報取締役編集局長)	島 洋子
20号委員(琉大病院病理部長)	和田 直樹
(県立中部病院放射線科副部長)	戸板 孝文

(欠席者)

2号委員(県立中部病院長)	玉城 和光
(那覇市立病院長)	外間 浩
3号委員(県立宮古病院長)	岸本 信三
3号委員(県立八重山病院長)	和氣 亨
4号委員(沖縄県医師会長)	安里 哲好
7号委員(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
17号委員(県立宮古病院副院長)	新崎 博美
19号委員(一般社団法人グループ・ネクス理事長)	天野 慎介

(陪席者)

緩和ケア・在宅医療部会	笹良 剛史
小児・AYA部会	浜田 聡
情報提供・相談支援部会	仲宗根 恵美
離島へき地部会	赤松 道成
沖縄県保健医療部健康長寿課	國吉 聡
沖縄県保健医療部健康長寿課	河野 百合子
がんセンター	伊佐 奈々

資料確認等

1. 令和5年度第1回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月10日開催)
2. 令和4年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事要旨(2月3日開催)
3. 令和4年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事録(2月3日開催)
4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和5年度の協議会・幹事会の開催の日時について

大屋委員長(1号委員)から、資料4の協議会名簿に基づき、新規委員について紹介があり、新委員からそれぞれ挨拶があった。

また、増田委員(10号委員)から資料及び議事要旨等について確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、がん計画と医療計画の効果向上及び第4期がん対策推進計画策定に向けた「ロジックモデルに対応した指標データ集」のレビューについて報告があった。

(主な確認事項)

- Q.上原委員:ロジックモデルについて、最終アウトカムに向けての施策を行っていくが、中間アウトカムや振り返りのところで、振り返る指標等があれば教えていただきたい。
- A.埴岡委員:ロジックモデルや指標も万能では無いが、使い方の限界や利点を理解して進めることが大事である。
- Q.上原委員:第3次がん計画について中間評価の振り返りを確認したが、何ができていて何が足りないのかや、PDCAサイクルが回っているのか、課題は何か等が疑問であったため確認した。
- A.埴岡委員:国や都道府県の計画で評価を行う場合、ほとんど評価になっていないのが実情である。なぜなら現状、数値の計測・報告のみになっているからである。評価とは、その数値を基に施策したことが目的に影響を与えたのかを吟味、検討して判断することである。
- A.糸数委員:行政では最終アウトカム等の評価については、主観的な指標と客観的な指標をできれば両方取り、複合的な評価になるよう考えている。
- Q.大屋委員長:大腸がんに関して、沖縄県の指標自体は余り悪くない(特にカバー率等)が、結果として沖縄県の大腸がん患者の罹患率や死亡率が高いというのは、どう理解すればいいのか。
- A.伊佐診療情報管理士:大腸がんの拠点病院カバー率は、拠点6施設だけではなく、準ずる病院も含まれており、沖縄県は全国トップの高さである。
- A.埴岡委員:沖縄県は大腸がんに関しては、現状結果が悪いが、戦略的にデータを活かして改善していく素地は整っている状況にある。つまり、大腸がんプロジェクトの中で病院の役割分担等を議論するためのデータは整っているということが考えられる。

2. 天野委員報告

天野委員(19号委員)が欠席のため、代理で増田委員(10号委員)から資料7に基づき2点の報告があった。

1点目は、4月8日(土)に開催された一般社団法人全国がん患者団体連合会主催のシンポジウム「国の第4期がん対策推進基本計画と都道府県がん対策推進計画を考える」について報告があった。

2点目は、5月31日(水)に開催予定の一般社団法人全国がん患者団体連合会主催のシンポジウム「ロジックモデルを活用したがん計画の策定」について報告があった。

審議事項

1. グループ指定の組み合わせについて

増田委員(10号委員)から、資料8-(1)、(2)に基づきグループ指定の組み合わせについて説明があった。

続いて諸喜田委員(3号委員)、西原委員(17号委員)、松村委員(17号委員)から資料に基

づき、各連携病院間で連携できている内容及び連携に関する今後の展望及び要望等について説明があった。

2. 沖縄県における希少がんの診療体制について

吉田委員（16号委員）から資料9に基づき、沖縄県立中部病院における希少がんへの対応について説明があった。

希少がんの診療において、遺伝子パネル検査が重要となるため、中部病院でも検査ができる体制を整えている。今後は希少がんの診療について、琉球大学病院と共に中心的な役割を担っていききたいとの説明があった。

3. 今年度の協議会活動の重点事項について

増田委員（10号委員）から、資料10に基づき今年度の協議会活動の重点事項について、各項目の現時点での進捗状況の説明があった。

4. 第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会案）について

増田委員（10号委員）から、資料11に基づき第4次沖縄県がん対策推進計画について説明があった。また、資料11-4〈本日審議していただきたいこと〉2について、審議の結果、提案のとおり了承された。

埴岡委員（19号委員）から、資料11-1に基づきロジックモデルについて説明があった。

増田委員（10号委員）から、資料11-2、資料11-3のがん医療提供体制の分野及び緩和・支持療法の分野について説明があった。

（主な質疑応答）

・分野名：がん医療提供体制

Q.大屋委員長：国の計画にはデジタル化が入っているが、沖縄県では患者支援に入っているだけで、ロジックモデルからは完全に無くなっているが問題はないか。

A.増田委員：分野領域では共生の相談支援・情報提供に入れていきたいと考えているため、本日のロジックモデルには入っていない。

・分野名：緩和・支持療法

Q.上原委員：個別施策があまり具体的ではない。緩和ケア研修会を開催する等の具体的な施策を入れたりはないのか。

A.増田委員：具体的な施策が入れられないか検討する。

・分野名：個別のがん対策

Q.島袋委員：難治性がんの個別施策3にある役割分担は集約化だけになるのか。

A.増田委員：集約化を含めた連携体制を構築していくことを指している。

Q.戸板委員：基盤の中に人材育成があるが、手術、放射線療法、薬物療法等の専門家を計画的に育成する旨の提案はする予定があるか。

A.増田委員：手術、放射線療法、薬物療法の医師、看護師、薬剤師の三職種については、それぞれ個別の施策に入れた方が分かりやすいと考えているので、そこに指標を持ってきている。

増田委員（10号委員）から、他に意見があったら、メール等にて琉球大学病院がんセンターまで連絡いただきたい旨の発言があった。

5. その他

田盛委員（18号委員）から、がんの検診率を上げるために、現在オプションになっているがん関連の検査項目を、特定検診の中に入れることにより、個人費用負担がなくなり受診率アップにつながるのではないかと発言があった。

糸数委員（9号委員）から、特定検診の中に入れることは難しいかもしれないが、一緒に受診できるよう市町村に提案していきたいとの回答があった。

報告事項

1. 患者会よりの報告

(1) 与儀委員報告

与儀委員（18号委員）から資料12-1に基づき、NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさあの活動について報告があった。

(2) 田盛委員報告

田盛委員（18号委員）から資料12-2に基づき、やいまゆんたく会（八重山のがん患者を支援する会）の活動について報告があった。

2. 沖縄県がん診療連携登録歯科医療機関名簿について

米須委員（5号委員）から資料13に基づき、沖縄県がん診療連携登録歯科医療機関名簿について報告があった。

3. 各拠点病院等が取り組もうとしているがん対策

資料14に基づき、増田委員（10号委員）、吉田委員（16号委員）、宮里委員（16号委員）、柴山委員（17号委員）、西原委員（17号委員）、松村委員（17号委員）から各拠点病院が取り組む予定のがん対策について報告があった。

4. 大腸がん死激減プロジェクトの進捗状況について

増田委員（10号委員）から資料15に基づき、大腸がん死激減プロジェクトについて報告があった。

5. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

増田委員（10号委員）から資料16に基づき、沖縄県がん患者等支援事業の活動について報告があった。

6. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員（10号委員）から資料17に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターの活動について報告があった。

（以下については、紙面報告となった）

7. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第22回厚生科学審議会がん登録部会
- (2) 第45回予防接種・ワクチン分科会
- (3) 第37回がん検診のあり方に関する検討会
- (4) 第13回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
- (5) 第14回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
- (6) 第22回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

部会報告事項

1. 医療部会

有賀副部会長から資料19に基づき、医療部会の活動・取組状況について報告があった。

2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料20に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取組状況について報告があった。

3. 小児・AYA部会

浜田部会長から資料21に基づき、小児・AYA部会の活動・取組状況について報告があった。

4. 離島・へき地部会

松村副部長から資料22に基づき、離島・へき地部会の活動・取組状況について報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

仲宗根部会長から資料23に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取組状況について報告があった。

6. ベンチマーク部会

増田部会長から資料24に基づき、ベンチマーク部会の活動・取組状況について報告があった。

以上